

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会開催基本構想（案）
 に対する県民の皆様からのご意見及び構想（案）への反映の考え方

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会

○意見募集期間 令和5年1月11日（水）～令和5年2月9日（木）30日間

○意見の総数 1件（1人）

項目	ご意見の概要	構想（案）への反映の考え方
<p>第4章 実施目標の実現に向けた取組 5 スポーツが長野県のファンを増やす大会（2） 大会を通じた長野県の魅力発信</p>	<p>1 ページ目 4 段落目に、2028年は、やまびこ国体・やまびこ大会から50年目、長野冬季オリンピック・パラリンピックから30年目の節目の年、との記載がある。 その記述をふまえ、11ページ5（2）4点目「文化プログラム」において、やまびこ国体・やまびこ大会、長野冬季オリンピック・パラリンピックを振り返る企画を例として加筆が可能か、検討を提案する。 やまびこ国体・やまびこ大会、長野冬季オリンピック・パラリンピックが、長野県におけるスポーツ振興・街づくり・交通網の整備・国際交流などに対して、どのような効果をもたらし、そして現在につながっているのか、歴史的な視点や社会的な視点から振り返る企画を立案することに意義があるのではないかと考え、提案するものである。 やまびこ国体は、県庁所在地が国民体育大会の主会場とならなかった北信越地域唯一の例であり、また、長野県は世界初の夏季・冬季の両方の五輪の開催会場となった軽井沢町を擁しており、多面的に考察するきっかけの意義があるものとする。 また、長野県におけるスポーツと地域文化との関わりも考察できるのではないかと考える。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の文化プログラムの企画立案・実施段階で参考にさせていただきます。 なお、他県の文化プログラムでは、県や市町村だけでなく、開催目的に賛同する団体・機関等も、事業を実施できることとされており、本県においても、長野県ならではの魅力を発信できる文化プログラム事業が実施されるよう、今後、県準備委員会で検討を進めてまいります。</p>